

# 福島県感染症発生動向調査 月報

## Infectious Diseases Monthly Report FUKUSHIMA

2015年1月号

平成27年1月28日発行

### 目次

#### STD 疾患

- ・ 性器クラミジア感染症 . . . . . 2～3
- ・ 性器ヘルペスウイルス感染症 . . . . . 4～5
- ・ 尖圭コンジローマ . . . . . 6～7
- ・ 淋菌感染症 . . . . . 8～9

#### 薬剤耐性菌感染症

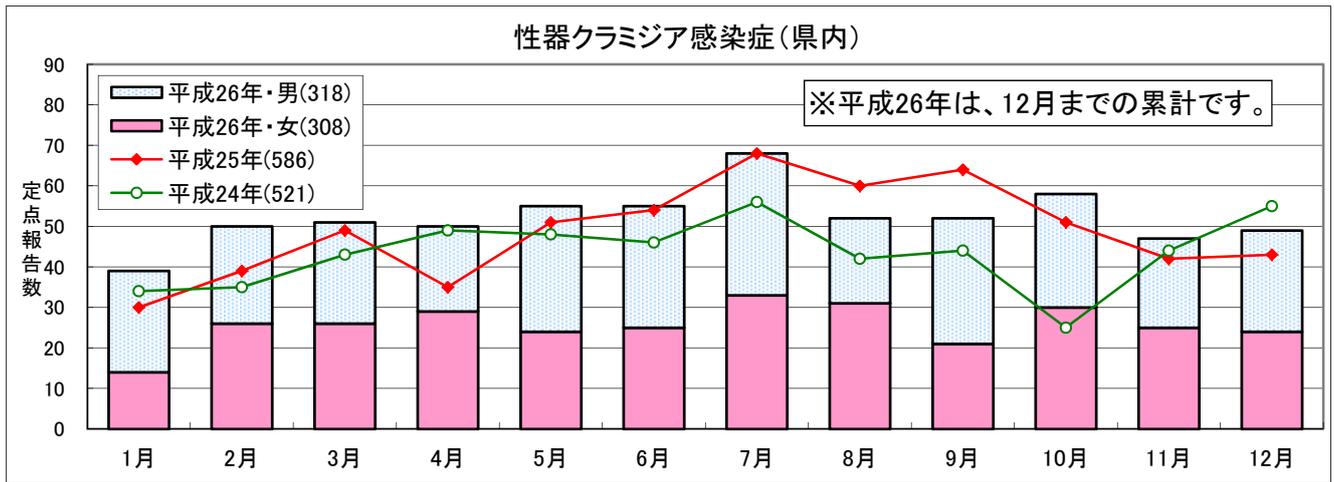
- ・ メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 . . . . . 10～11
- ・ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 . . . . . 12～13
- ・ 薬剤耐性緑膿菌感染症 . . . . . 14～15

- 病原体情報 . . . . . 16

福島県衛生研究所感染症情報センター

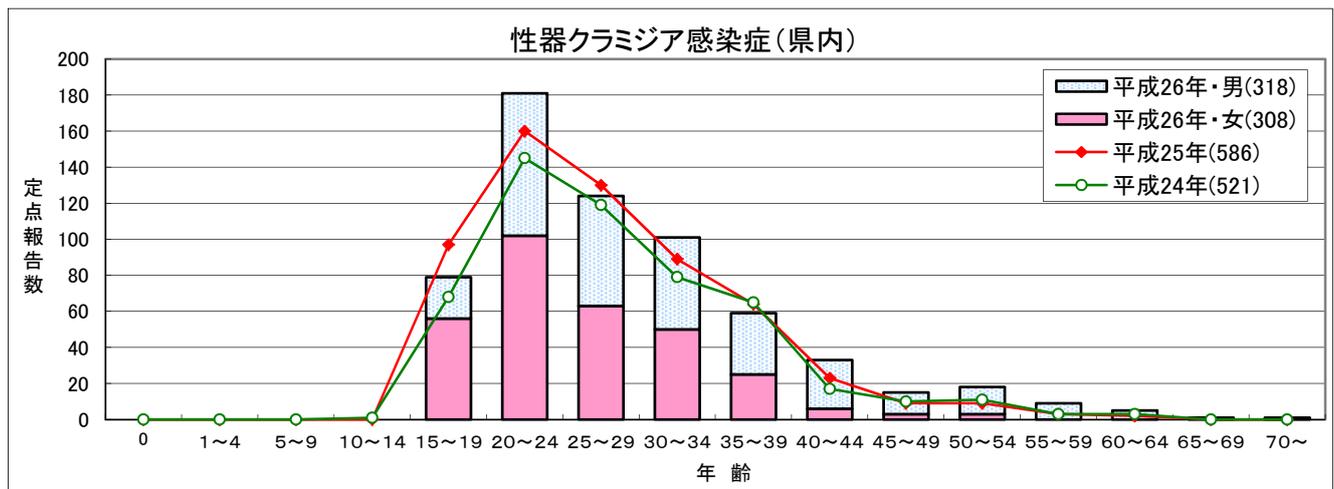
Mail : eiseikenkyuu@pref.fukushima.lg.jp

# 性器クラミジア感染症

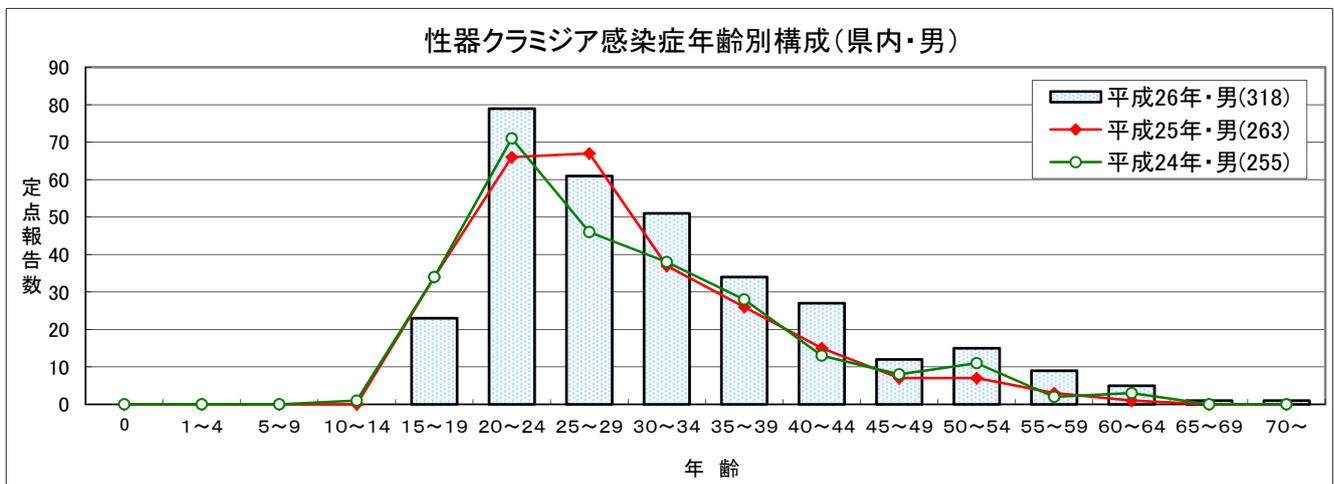


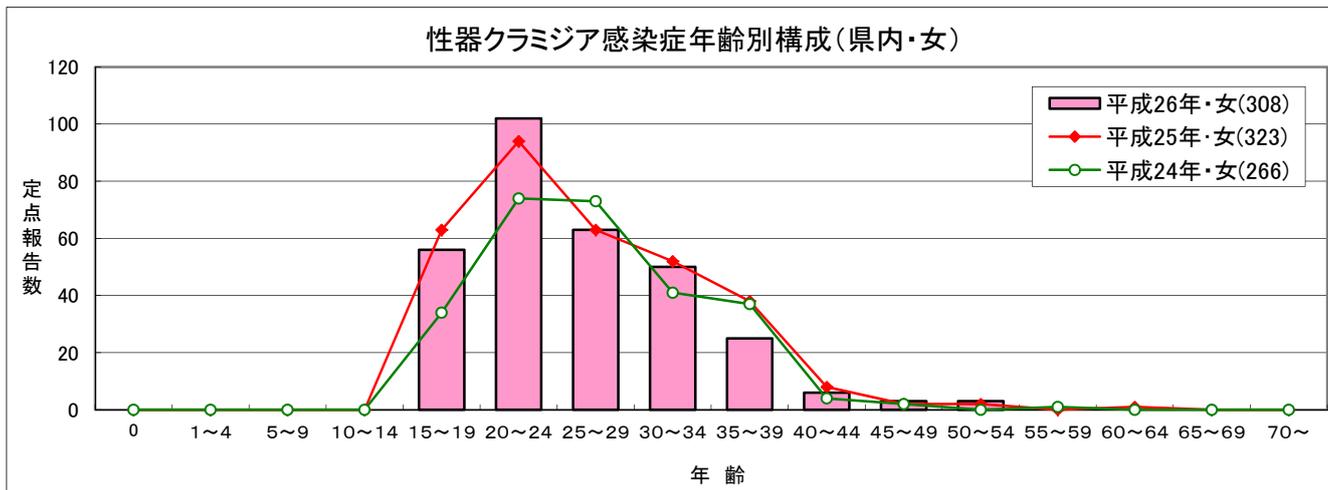
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成26年・男(318)	25	24	25	21	31	30	35	21	31	28	22	25	318
平成26年・女(308)	14	26	26	29	24	25	33	31	21	30	25	24	308
平成26年(626)	39	50	51	50	55	55	68	52	52	58	47	49	626
平成25年(586)	30	39	49	35	51	54	68	60	64	51	42	43	586
平成24年(521)	34	35	43	49	48	46	56	42	44	25	44	55	521

## 平成24～26年 県内の年齢別構成(1月～12月)

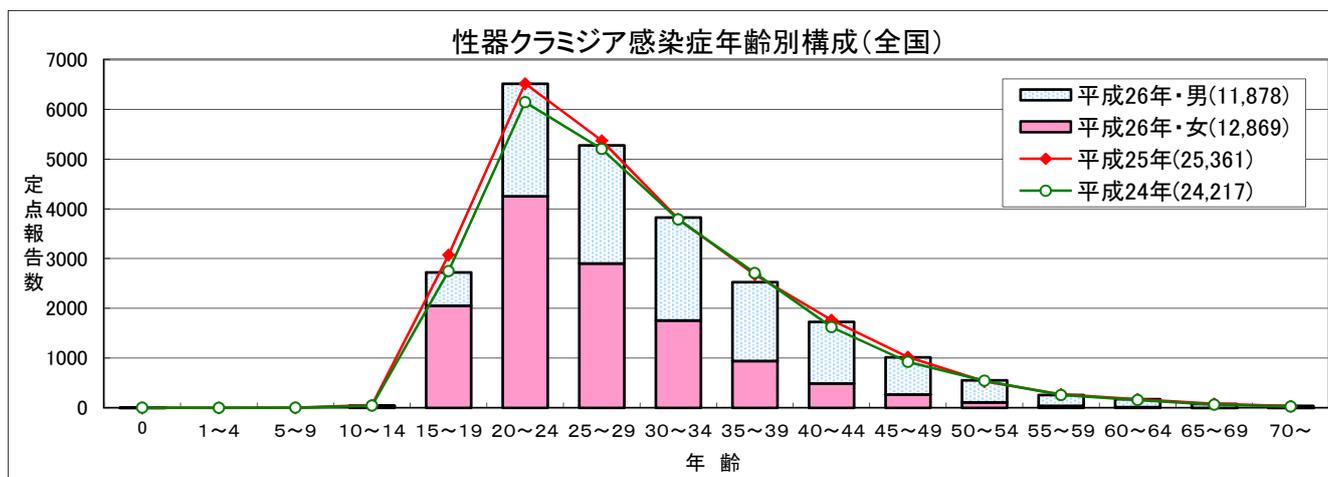


## 平成24～26年 男女別年齢構成の比較(1月～12月)

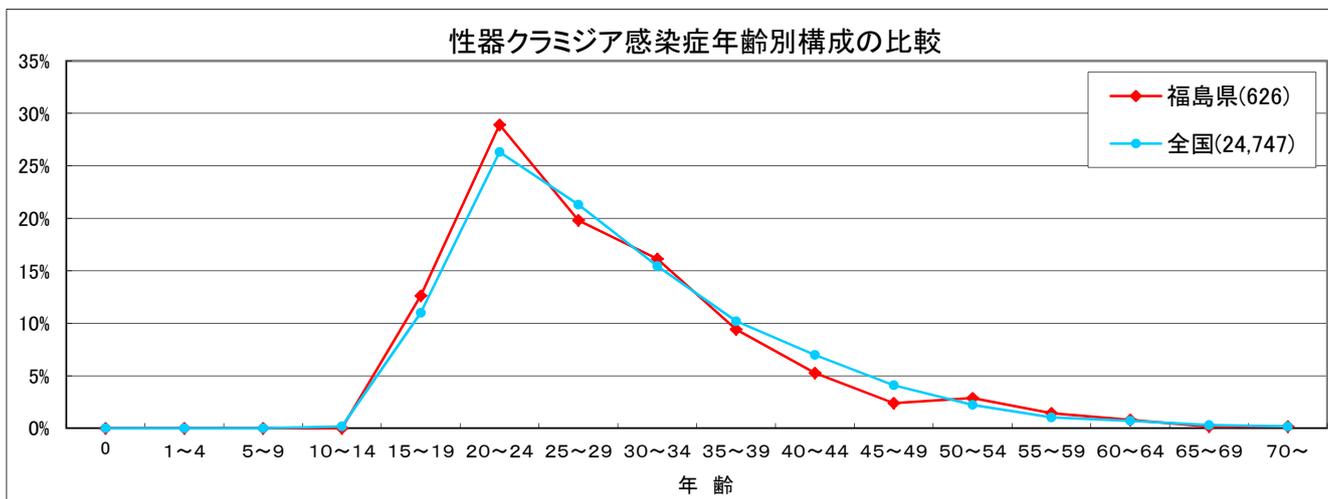




### 平成24~26年 全国の年齢別構成(1月~12月)



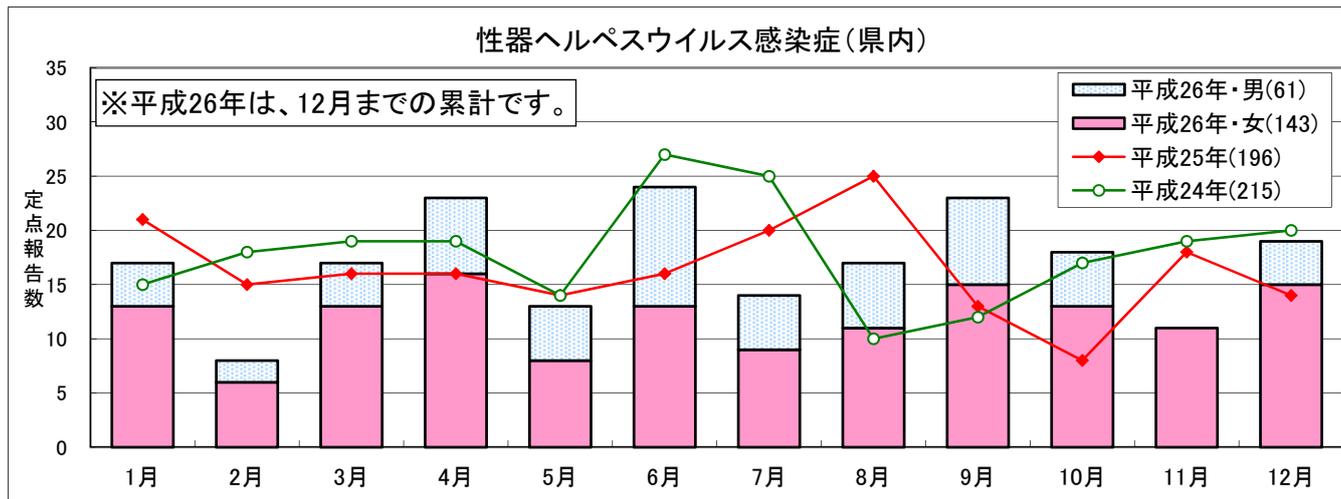
### 平成26年 年齢別構成の比較(1月~12月)



### 性器クラミジア感染症コメント

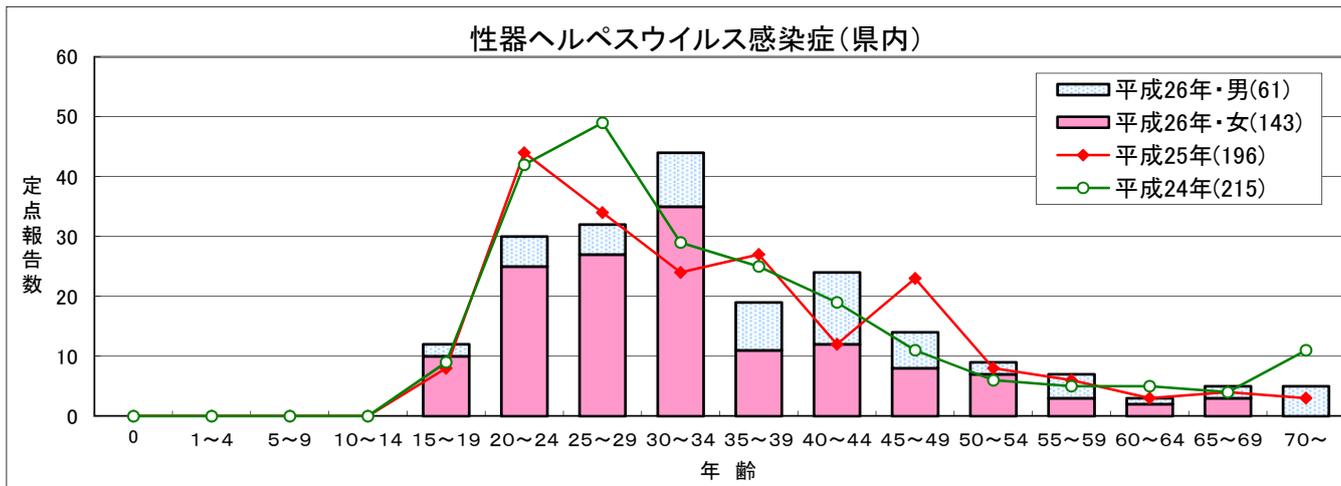
平成26年10月~12月のSTD定点からの患者報告数は、154名でした。  
 県内の男女別年齢別構成の比較では、20~24歳の患者が多くなっています。  
 また、全国との年齢別構成の比較では、全国とほぼ同様の報告となっています。

# 性器ヘルペスウイルス感染症

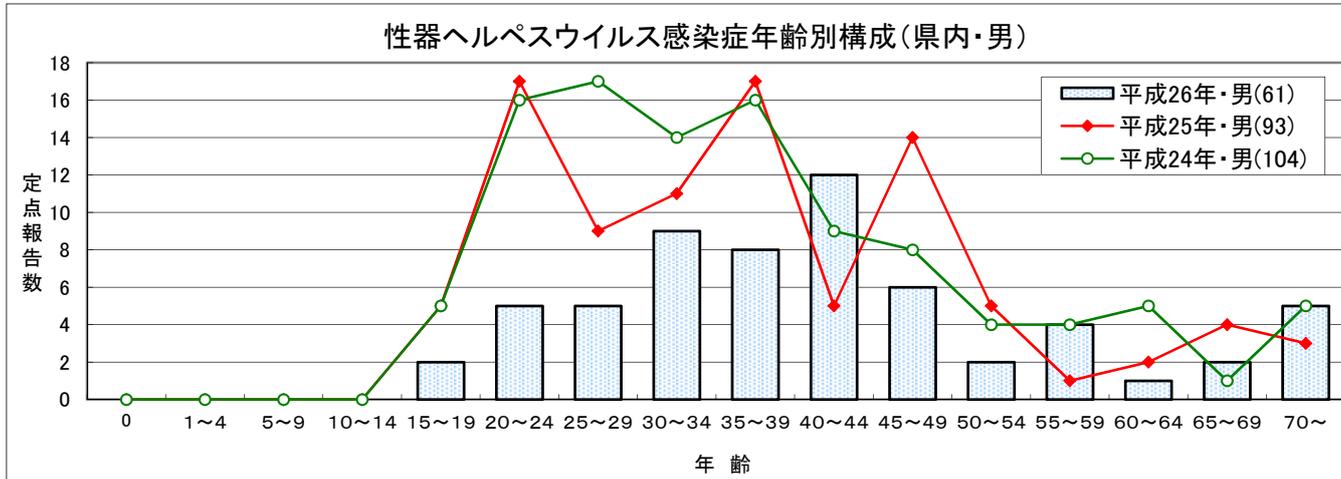


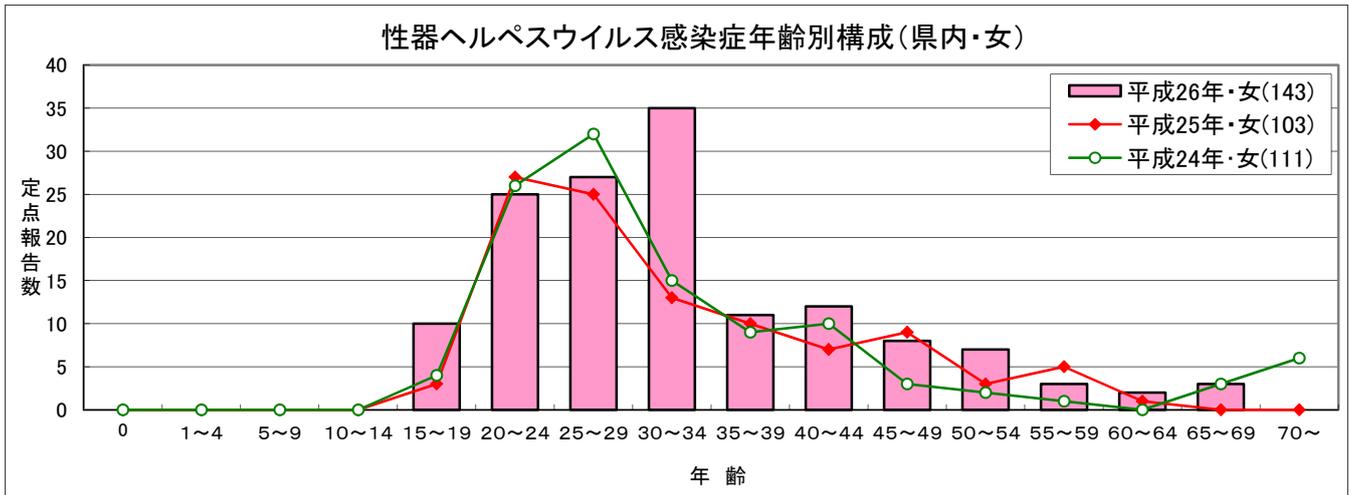
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成26年・男(61)	4	2	4	7	5	11	5	6	8	5	0	4	61
平成26年・女(143)	13	6	13	16	8	13	9	11	15	13	11	15	143
平成26年(204)	17	8	17	23	13	24	14	17	23	18	11	19	204
平成25年(196)	21	15	16	16	14	16	20	25	13	8	18	14	196
平成24年(215)	15	18	19	19	14	27	25	10	12	17	19	20	215

## 平成24～26年 県内の年齢別構成(1月～12月)

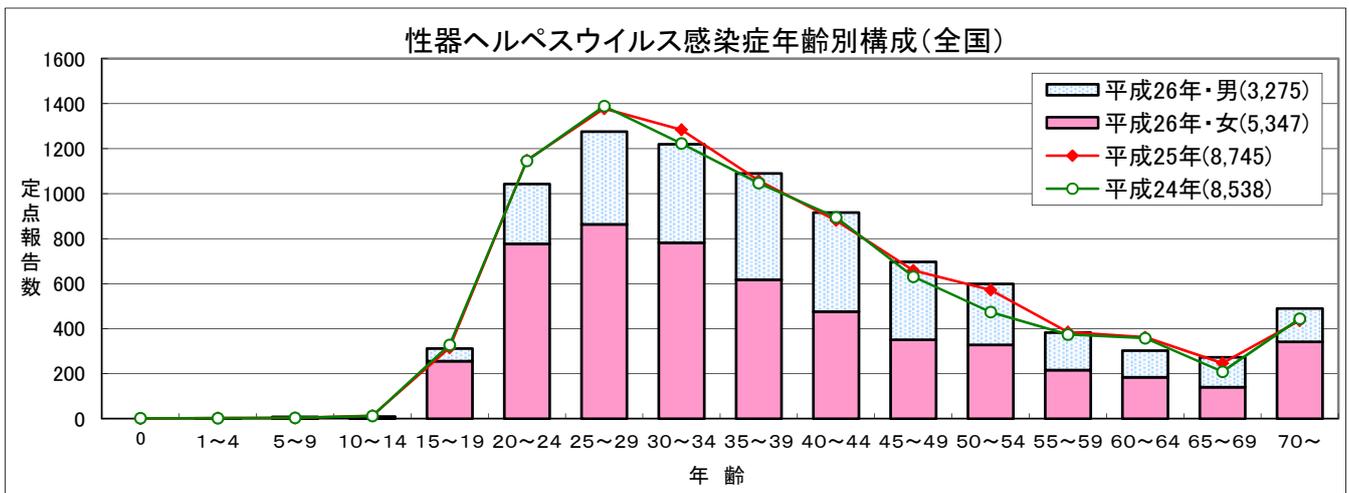


## 平成24～26年 男女別年齢構成の比較(1月～12月)

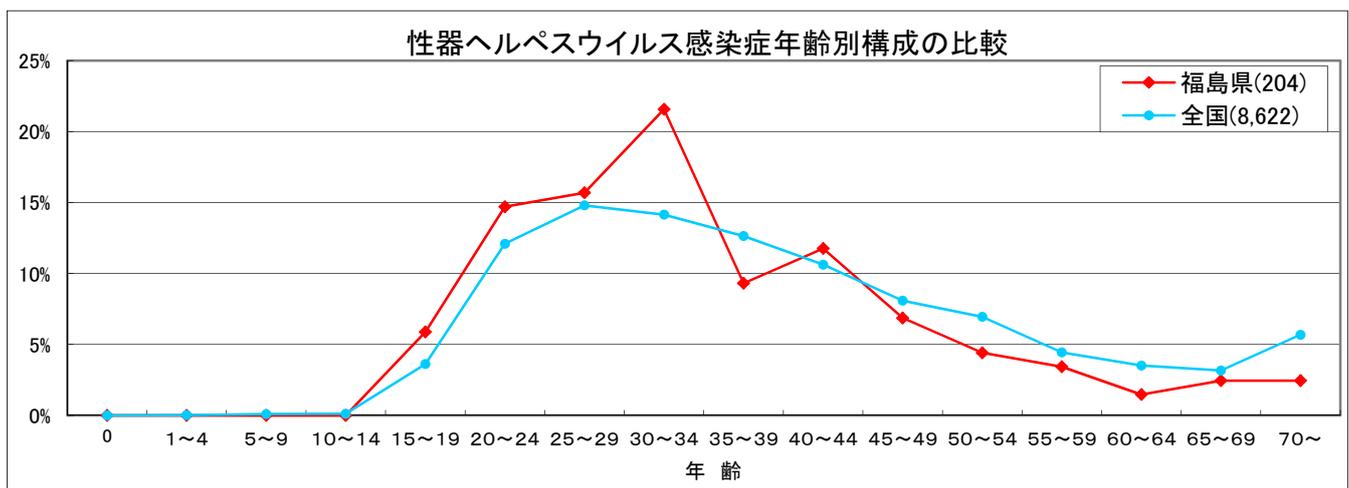




### 平成24~26年 全国の年齢別構成(1月~12月)



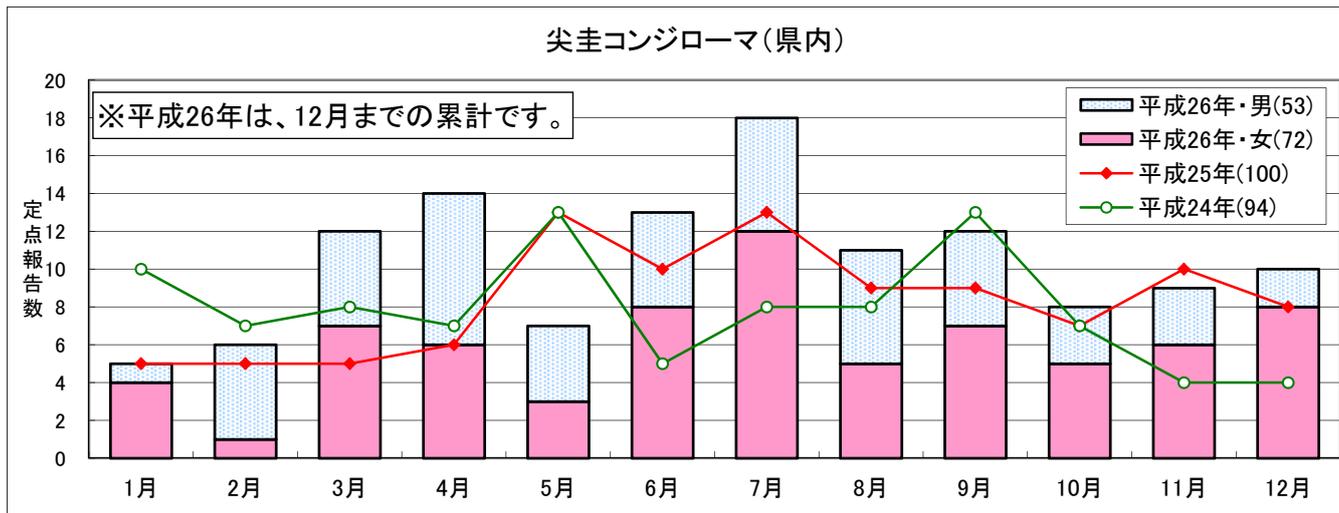
### 平成26年 年齢別構成の比較(1月~12月)



### 性器ヘルペスウイルス感染症コメント

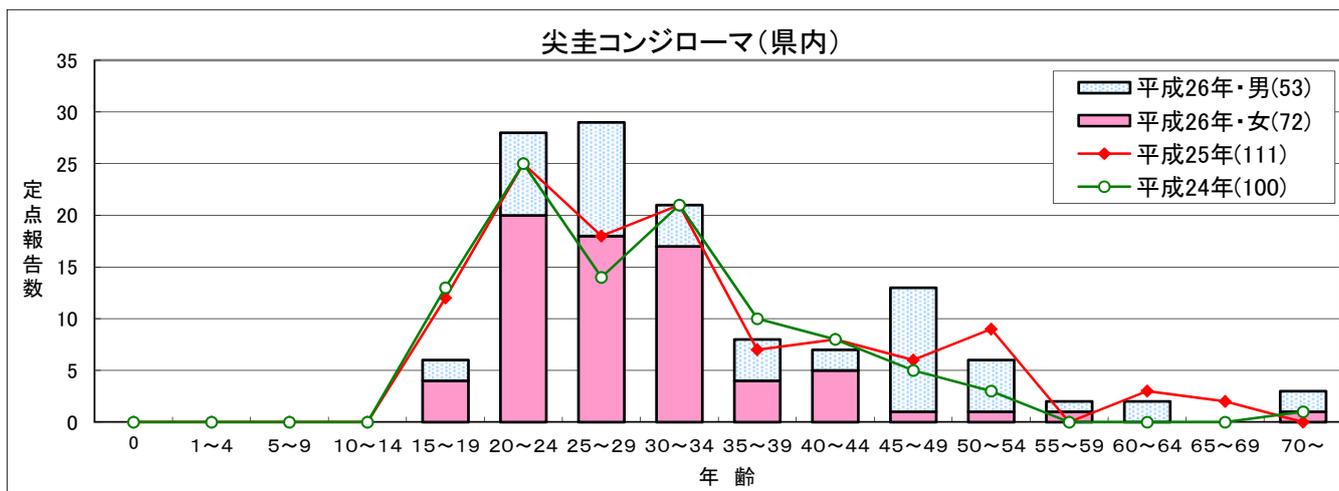
平成26年10月~12月のSTD定点からの患者報告数は、48名でした。  
 県内の男女別年齢別構成の比較では、女20~34歳の患者が多くなっています。  
 また、全国との年齢別構成の比較では、15~34歳、40~44歳の患者の占める割合が高くなっています。

# 尖圭コンジローマ

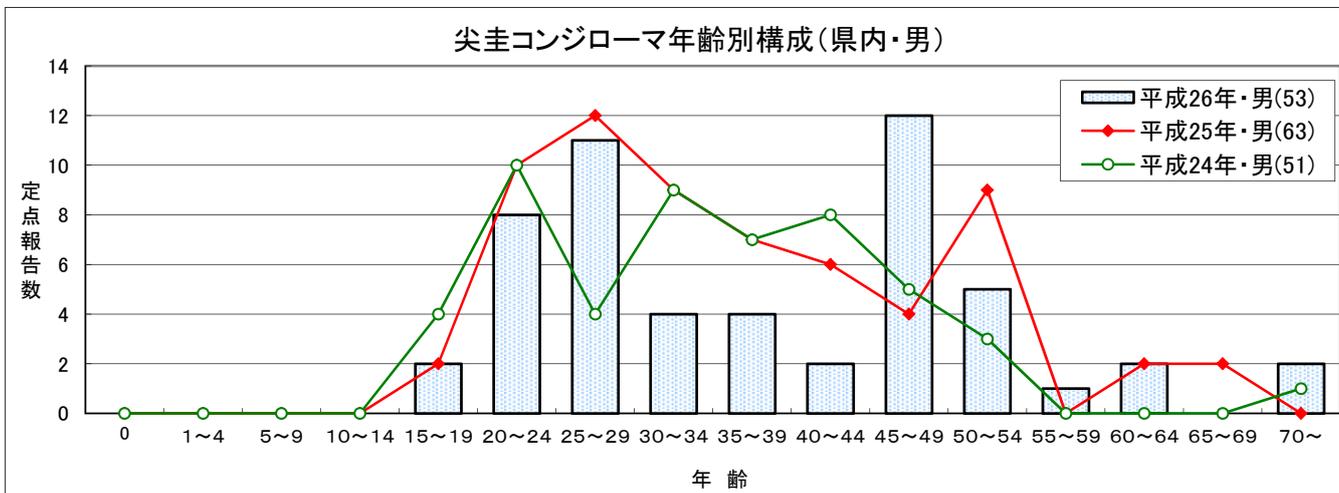


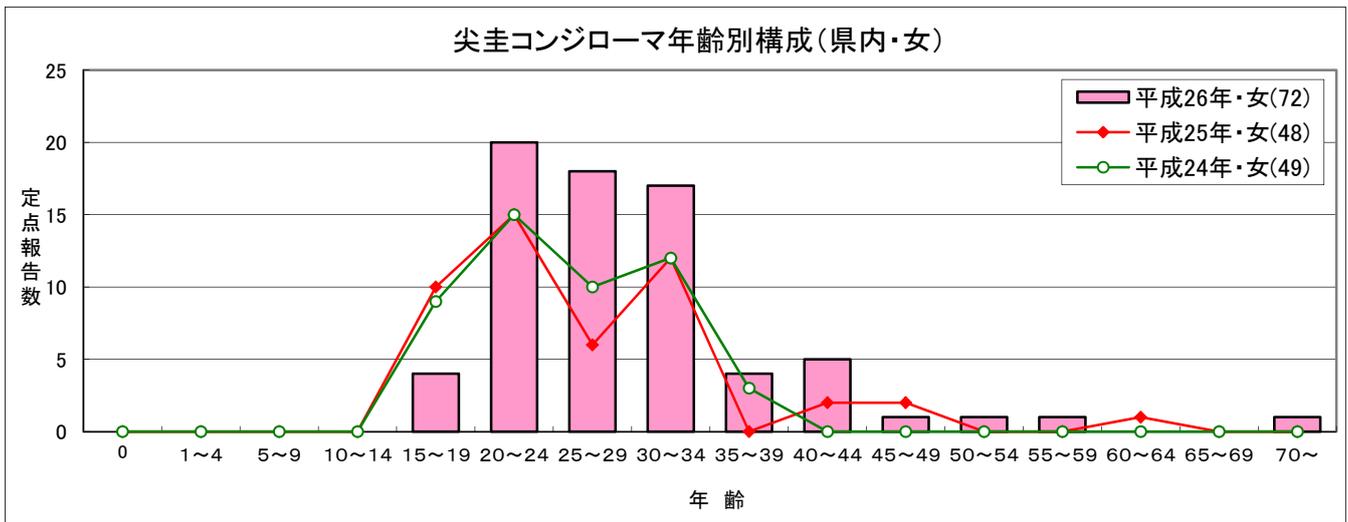
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成26年・男(53)	1	5	5	8	4	5	6	6	5	3	3	2	53
平成26年・女(72)	4	1	7	6	3	8	12	5	7	5	6	8	72
平成26年(125)	5	6	12	14	7	13	18	11	12	8	9	10	125
平成25年(100)	5	5	5	6	13	10	13	9	9	7	10	8	100
平成24年(94)	10	7	8	7	13	5	8	8	13	7	4	4	94

## 平成24～26年 県内の年齢別構成(1月～12月)

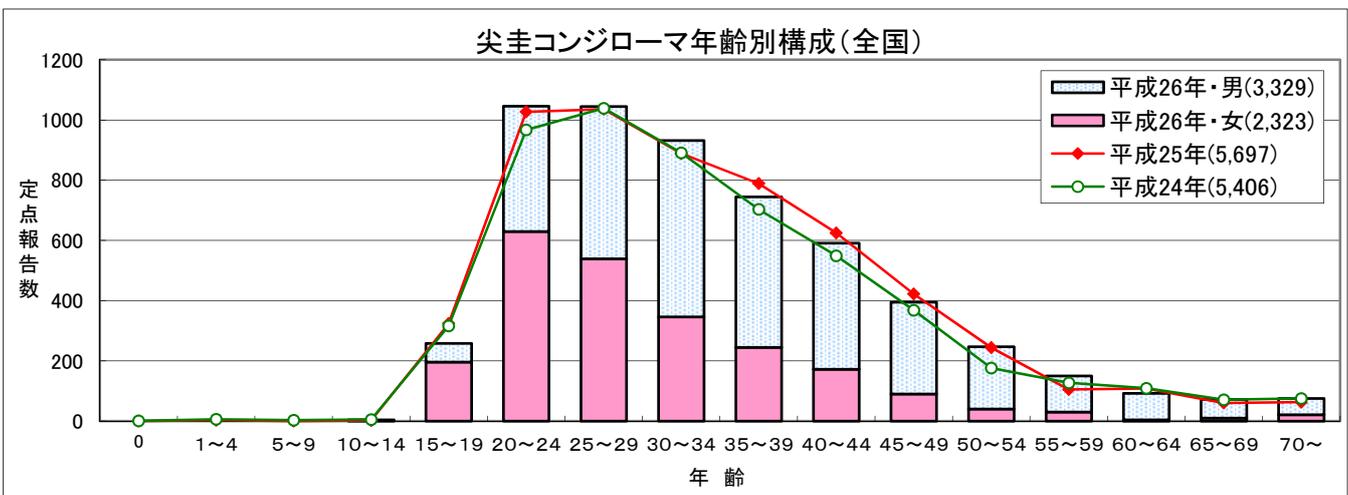


## 平成24～26年 男女別年齢構成の比較(1月～12月)

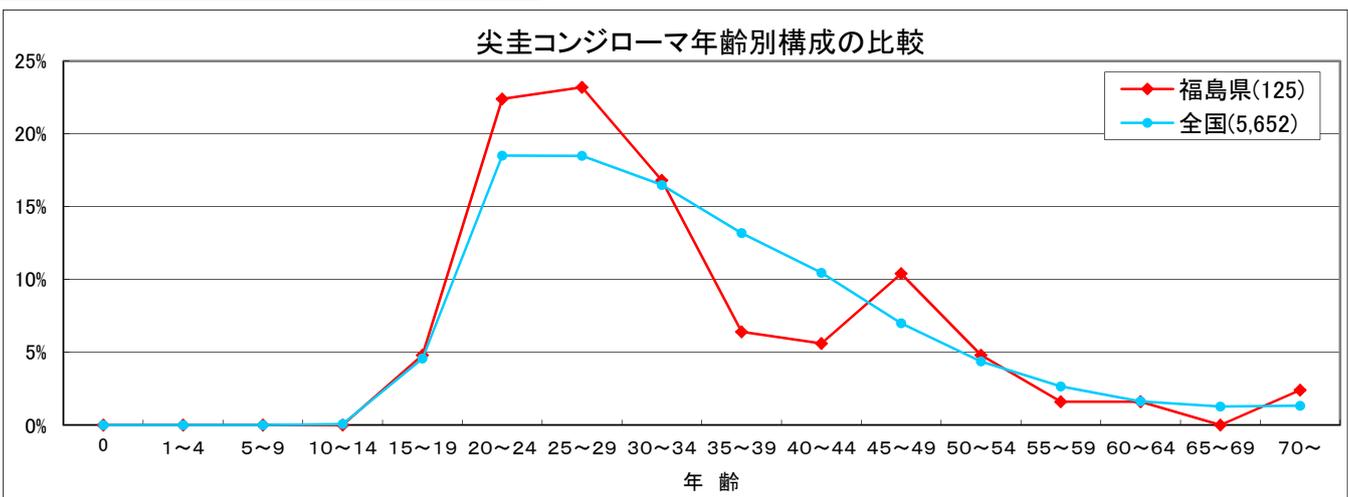




### 平成24～26年 全国の年齢別構成(1月～12月)



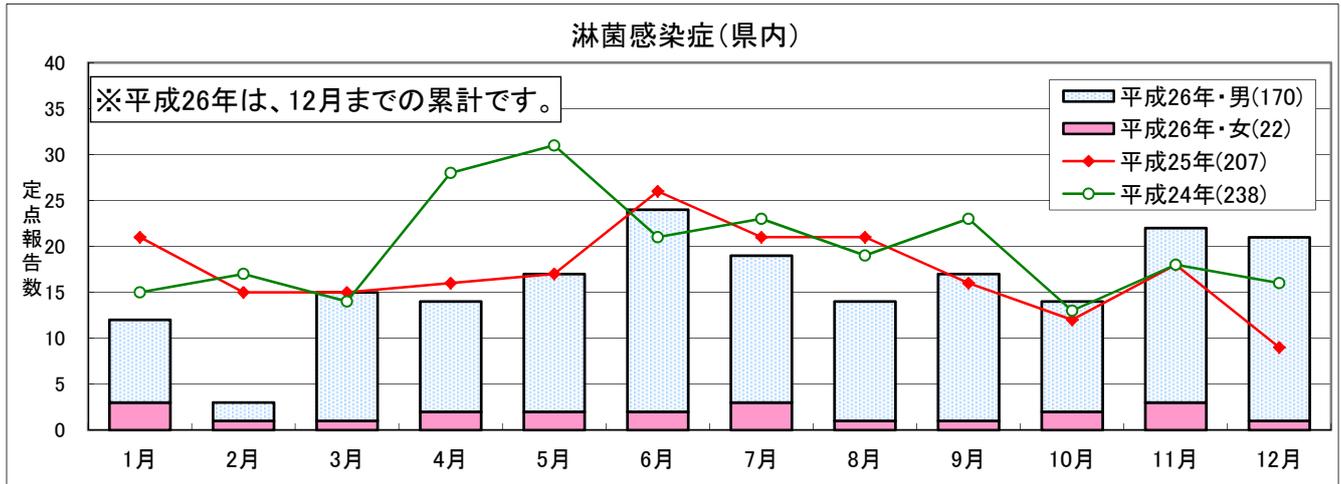
### 平成26年 年齢別構成の比較(1月～12月)



### 尖圭コンジローマコメント

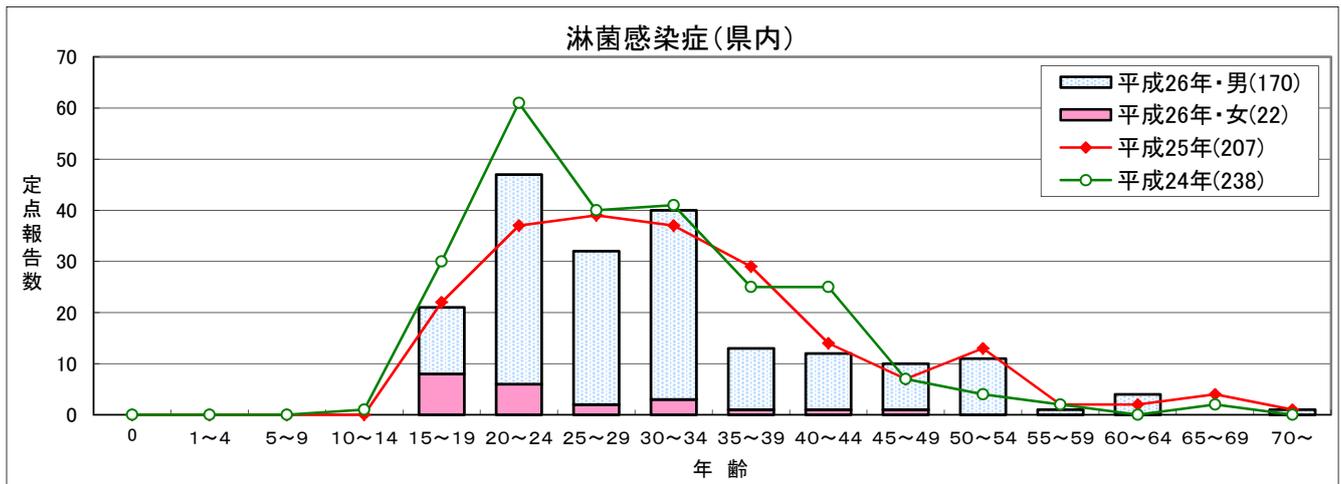
平成26年10月～12月のSTD定点からの患者報告数は、27名でした。  
 県内の男女別年齢別構成の比較では、女20～34歳、男25～29歳、45～49歳の患者が多くなっています。  
 また、全国との年齢別構成の比較では、20～29歳、45～49歳、70歳以上の患者の占める割合が高くなっています。

# 淋菌感染症

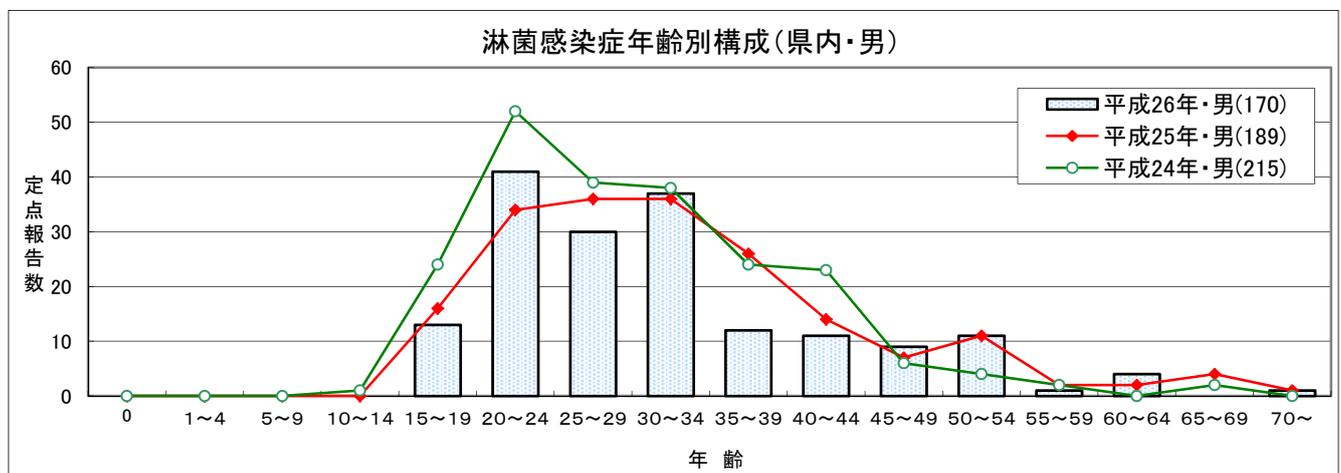


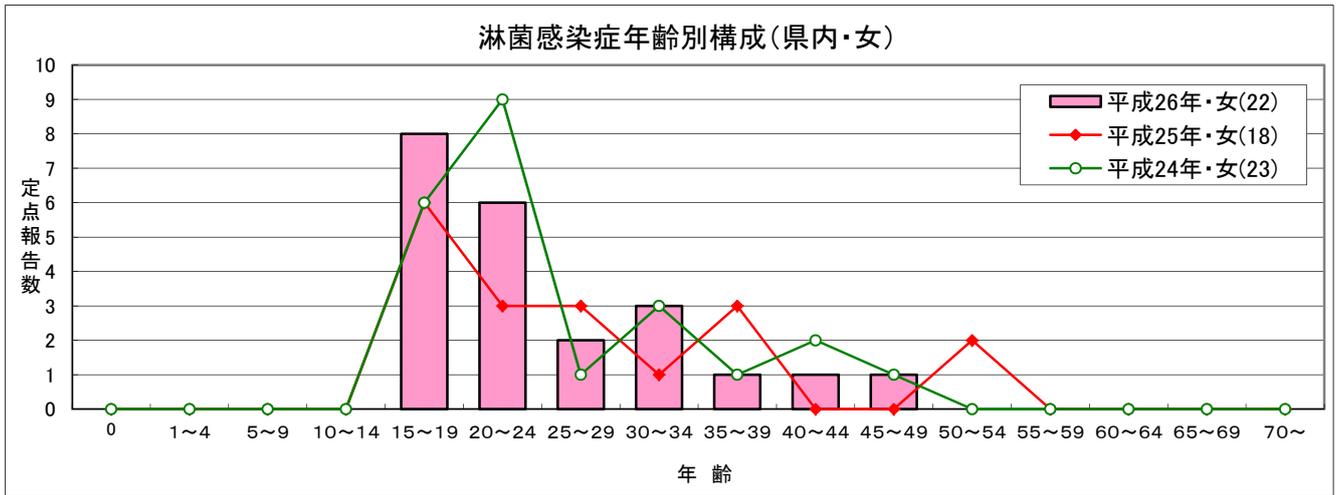
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成26年・男(170)	9	2	14	12	15	22	16	13	16	12	19	20	170
平成26年・女(22)	3	1	1	2	2	2	3	1	1	2	3	1	22
平成26年(192)	12	3	15	14	17	24	19	14	17	14	22	21	192
平成25年(207)	21	15	15	16	17	26	21	21	16	12	18	9	207
平成24年(238)	15	17	14	28	31	21	23	19	23	13	18	16	238

## 平成24～26年 県内の年齢別構成(1月～12月)

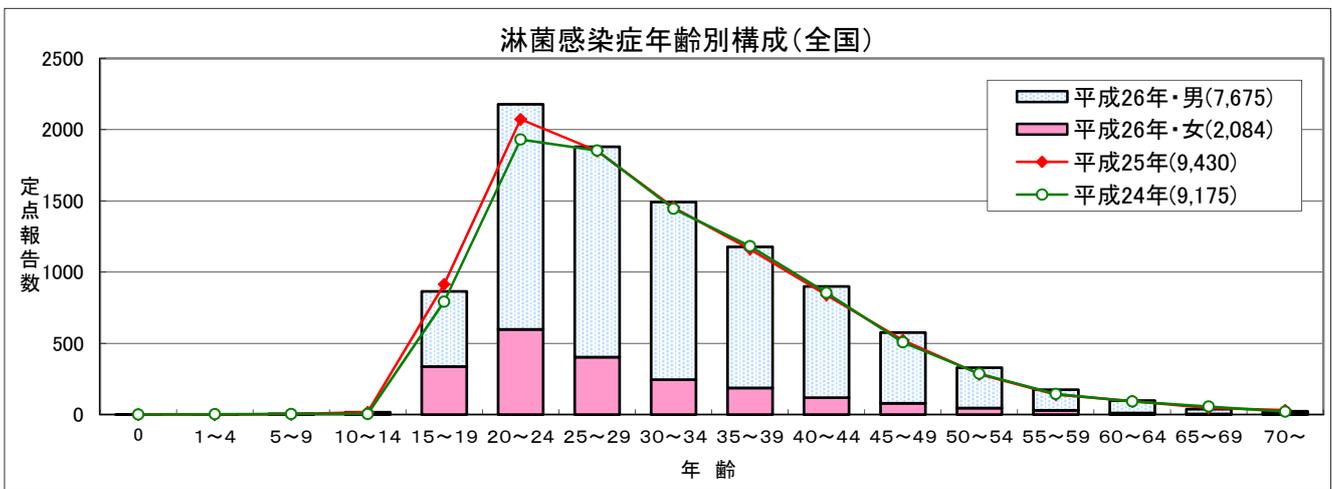


## 平成24～26年 男女別年齢構成の比較(1月～12月)

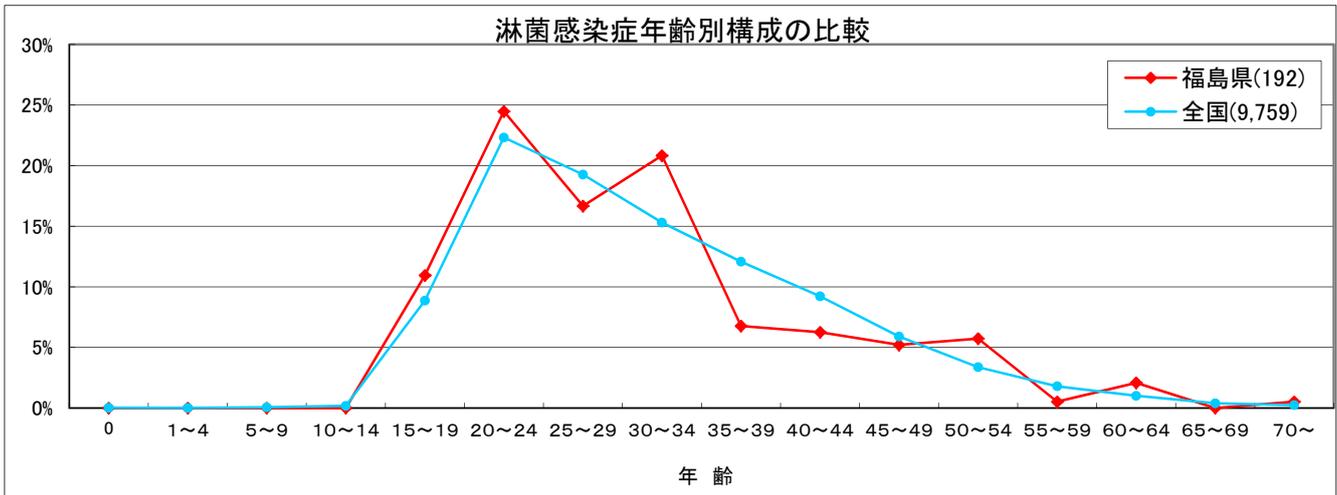




### 平成24~26年 全国の年齢別構成(1月~12月)



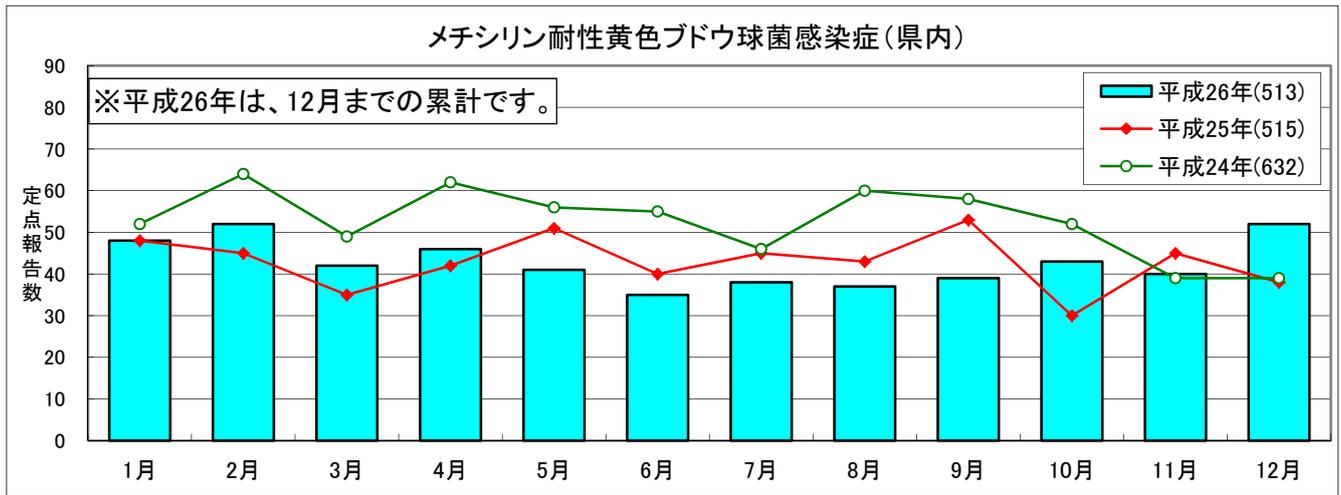
### 平成26年 年齢別構成の比較(1月~12月)



### 淋菌感染症コメント

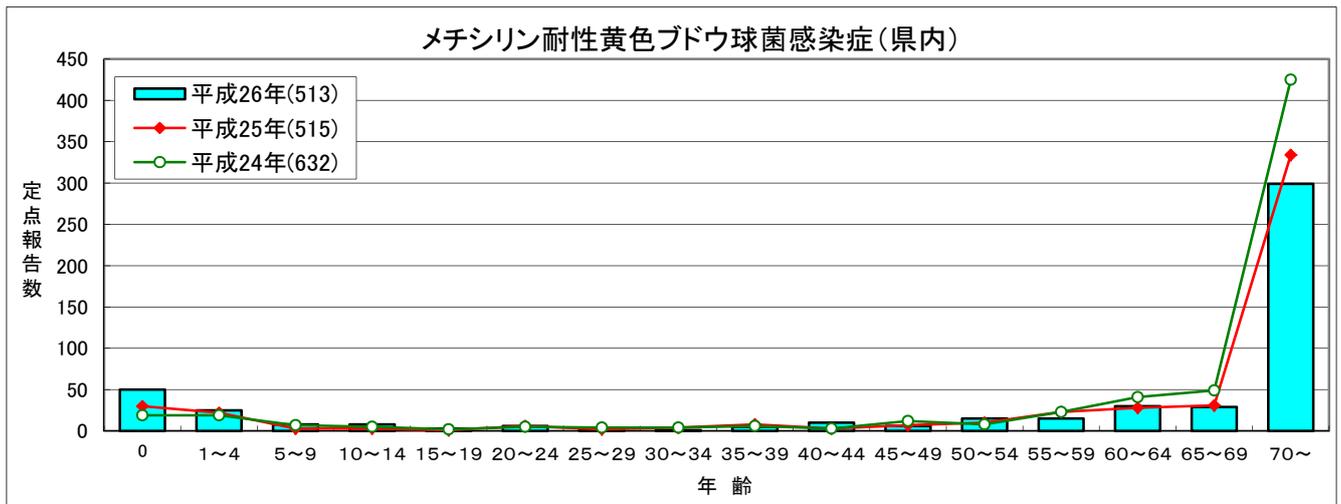
平成26年10月~12月のSTD定点からの患者報告数は、57名でした。  
 県内の男女別年齢別構成の比較では、男20~34歳の患者が多くなっています。  
 また、全国との年齢別構成の比較では、15~24歳、30~34歳、50~54歳、60~64歳の患者の占める割合が高くなっています。

## メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

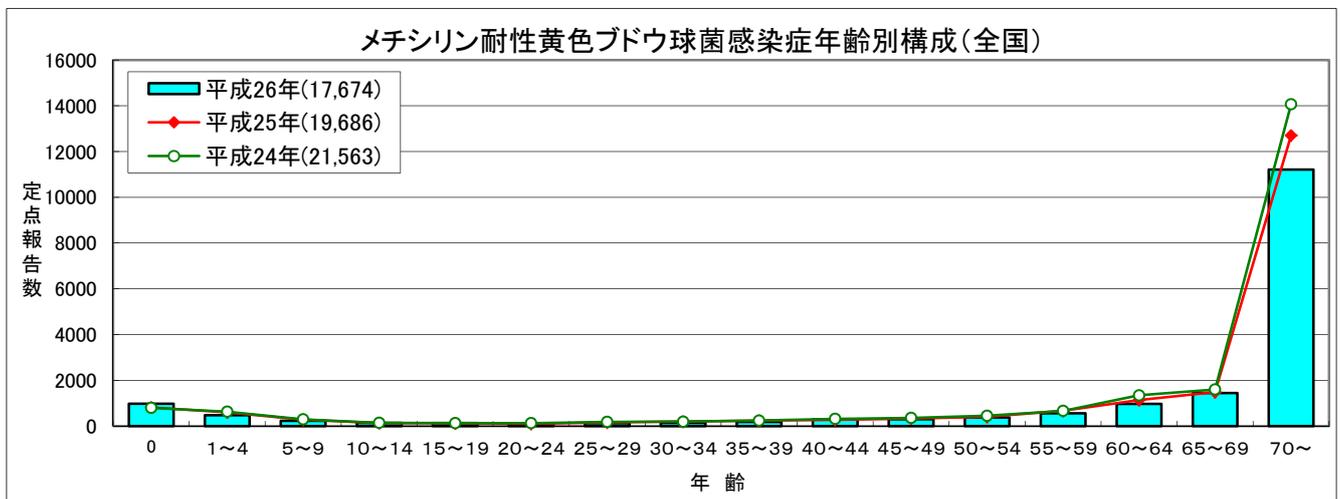


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成26年(513)	48	52	42	46	41	35	38	37	39	43	40	52	513
平成25年(515)	48	45	35	42	51	40	45	43	53	30	45	38	515
平成24年(632)	52	64	49	62	56	55	46	60	58	52	39	39	632

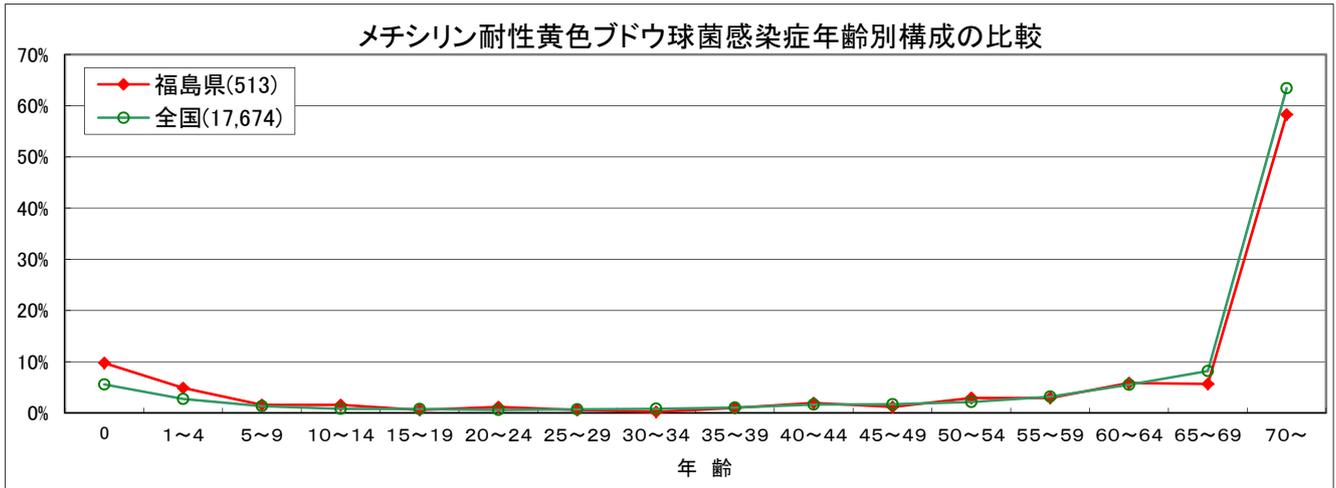
### 平成24～26年 県内の年齢別構成(1月～12月)



### 平成24～26年 全国の年齢別構成(1月～12月)



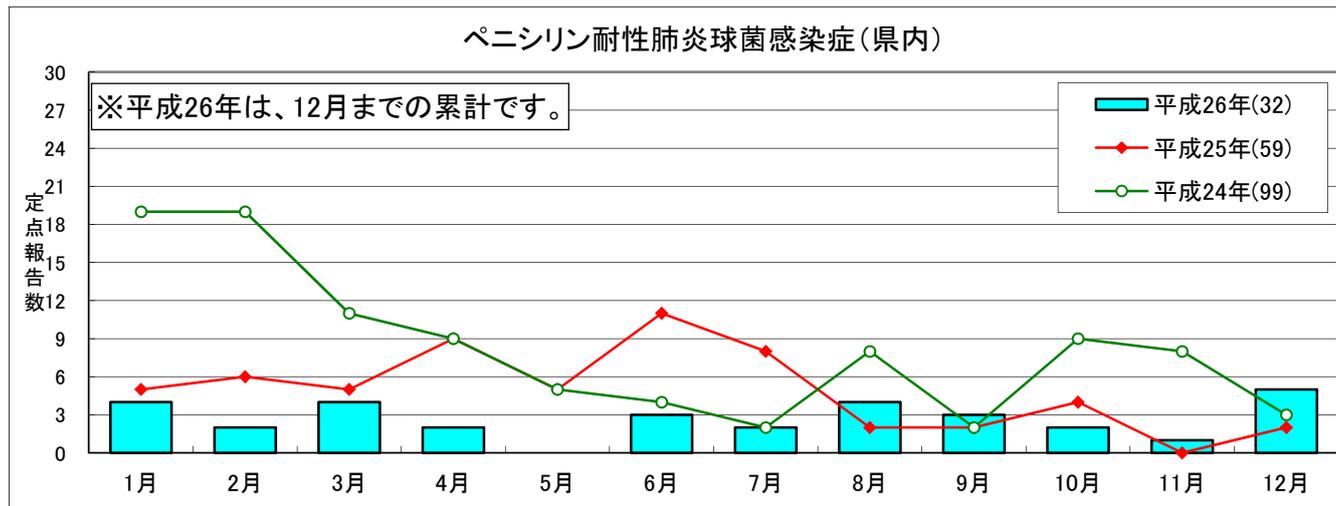
平成26年 年齢別構成の比較(1月～12月)



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症コメント

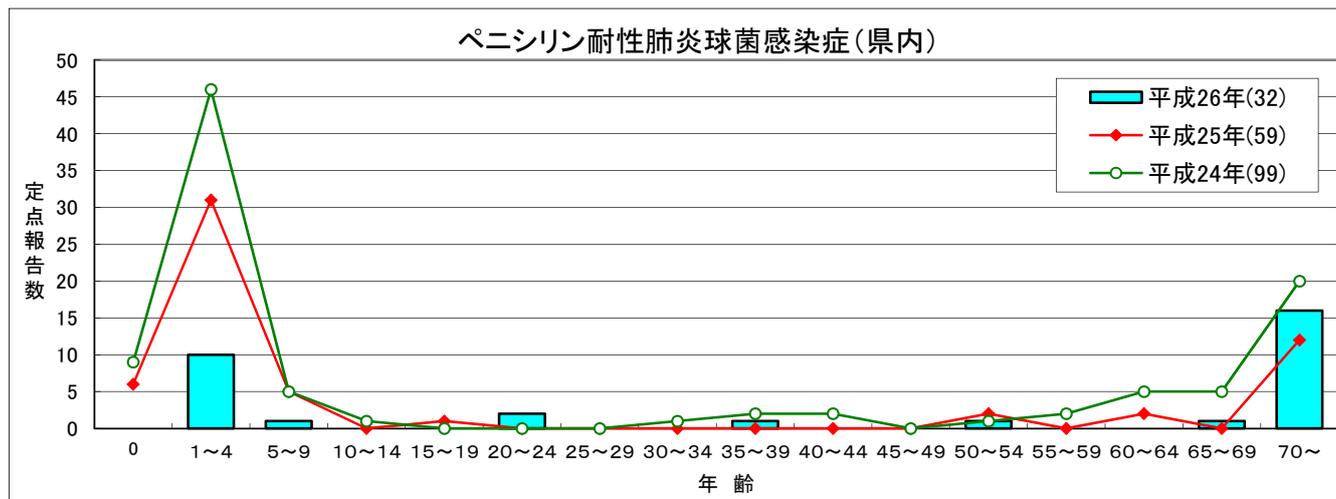
平成26年10月～12月の基幹定点からの患者報告数は、135名でした。  
全国との年齢別構成の比較では、全国とほぼ同様の報告となっています。

## ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

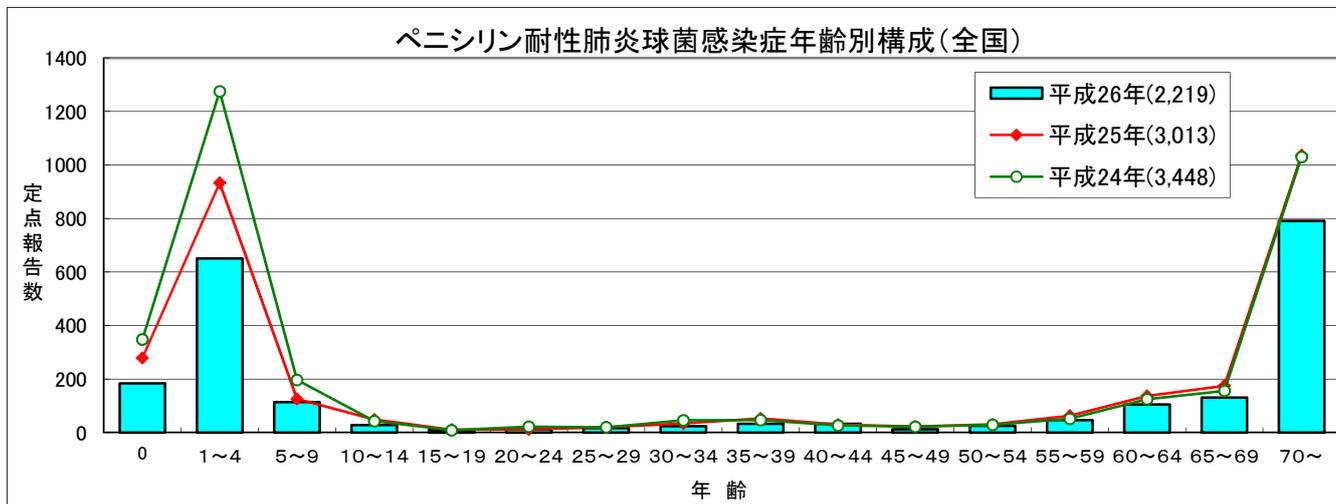


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成26年(32)	4	2	4	2	0	3	2	4	3	2	1	5	32
平成25年(59)	5	6	5	9	5	11	8	2	2	4	0	2	59
平成24年(99)	19	19	11	9	5	4	2	8	2	9	8	3	99

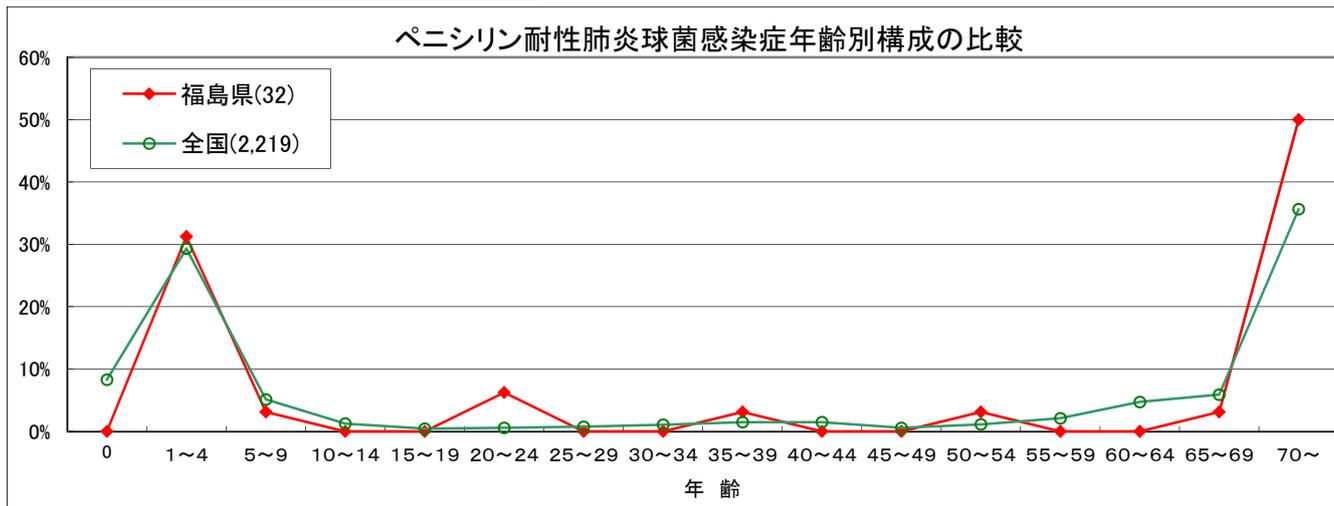
### 平成24～26年 県内の年齢別構成(1月～12月)



### 平成24～26年 全国の年齢別構成(1月～12月)



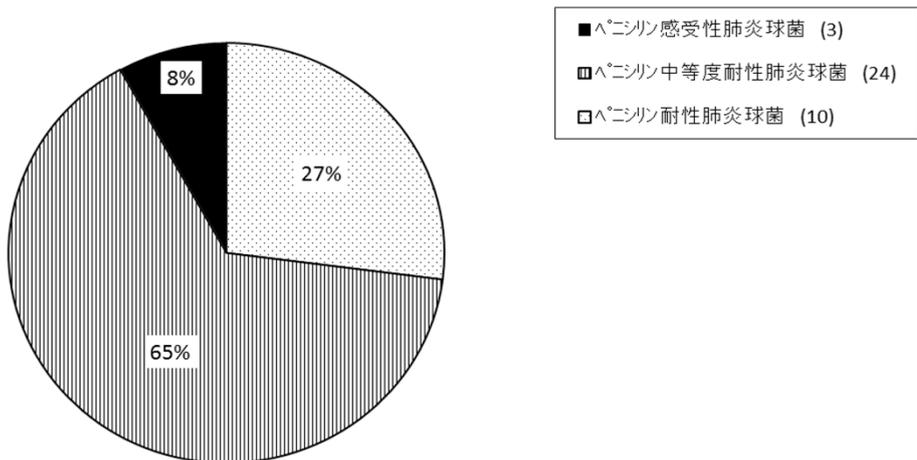
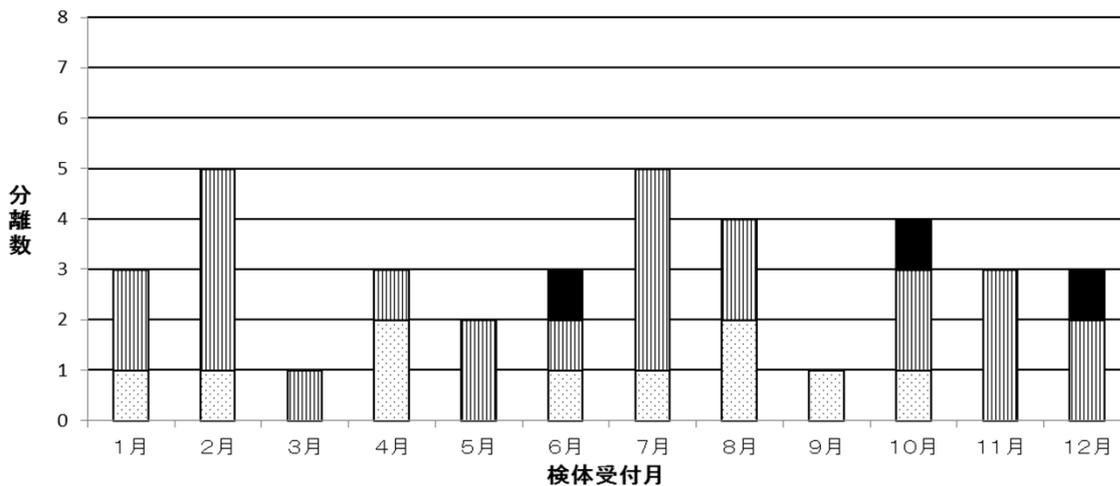
平成26年 年齢別構成の比較(1月~12月)



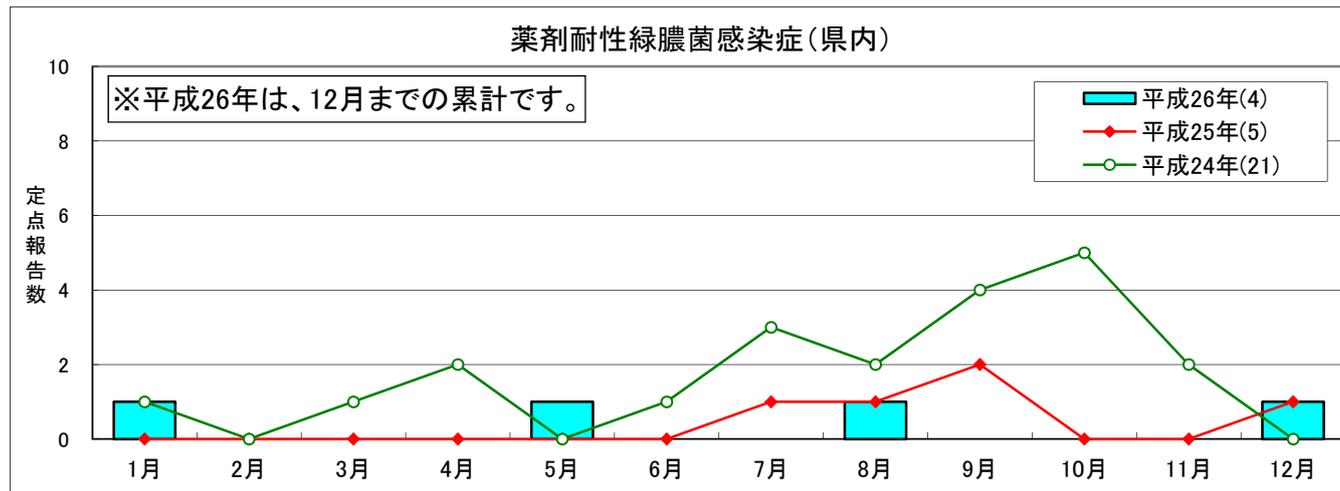
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症コメント

平成26年10月~12月の基幹定点からの患者報告数は、8名でした。  
 全国との年齢別構成の比較では、20~24歳、70歳以上の患者の占める割合が高くなっています。  
 また、基幹病原体定点からの肺炎球菌の分離状況は下記の通りです。

肺炎球菌月別分離状況

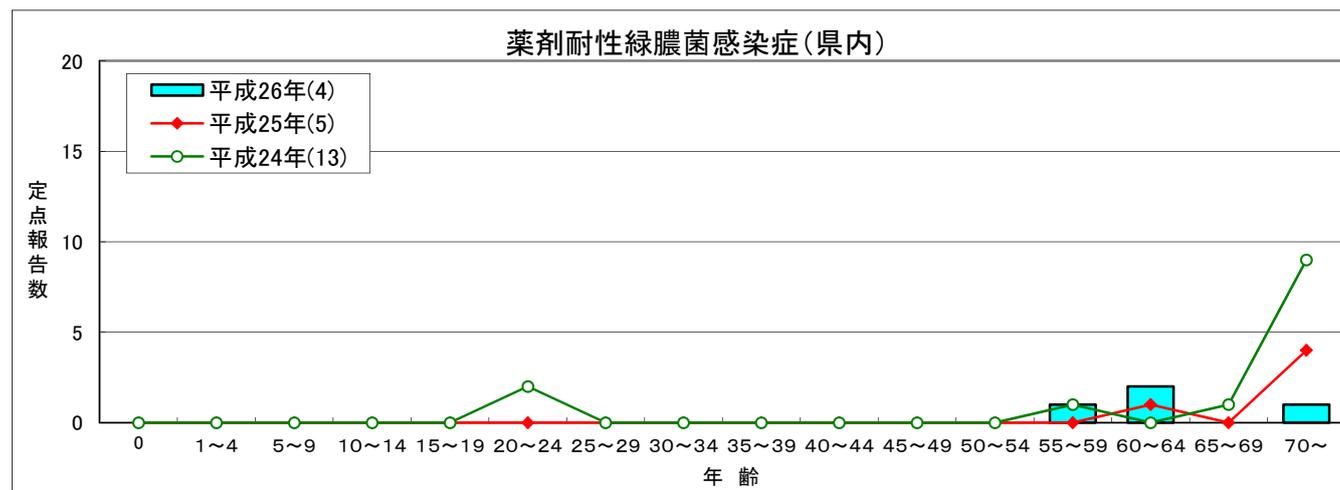


# 薬剤耐性緑膿菌感染症

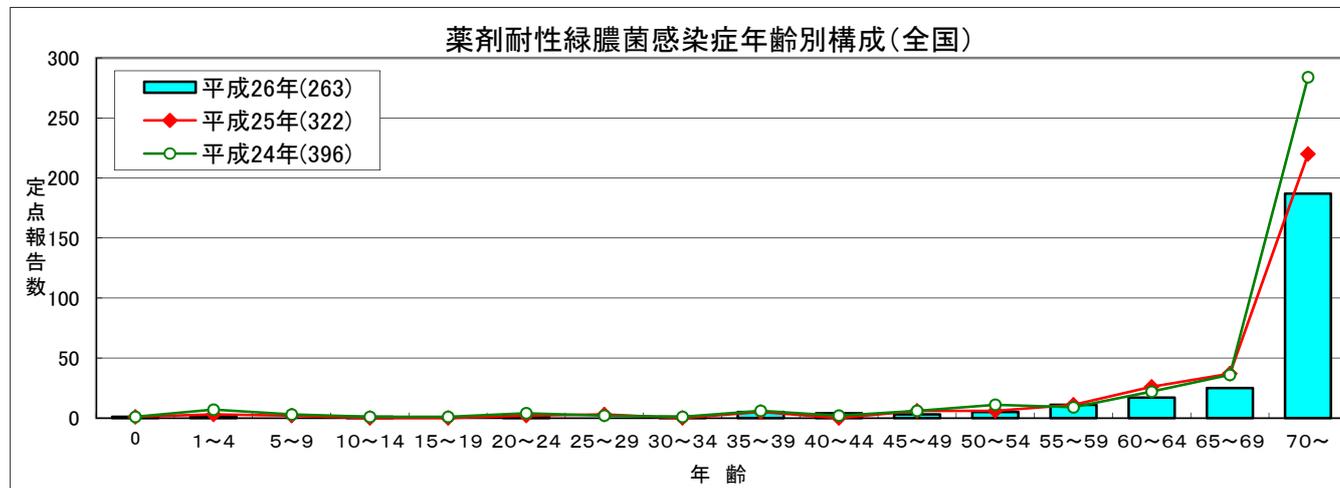


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成26年(4)	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	4
平成25年(5)	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	1	5
平成24年(21)	1	0	1	2	0	1	3	2	4	5	2	0	21

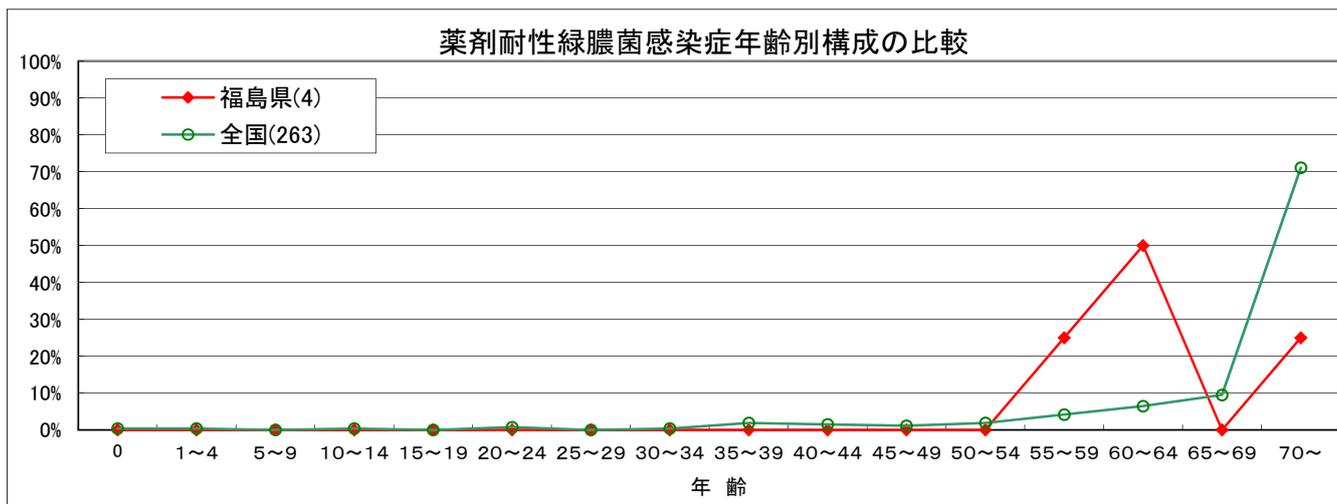
## 平成24～26年 県内の年齢別構成(1月～12月)



## 平成24～26年 全国の年齢別構成(1月～12月)



平成26年 年齢別構成の比較(1月～12月)



薬剤耐性緑膿菌感染症コメント

平成26年10月～12月の基幹定点からの患者報告数は、1名でした。

◎ウイルス同定数(平成26年10～12月検体搬入分)

	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	合計
検体搬入数	29	52	110		7		35	21	254
RSウイルス A			1						1
アデノウイルス 2型		1							1
アデノウイルス 3型	1		1						2
アデノウイルス 41型			1						1
インフルエンザウイルス A(H3)		3	1		5			4	13
エコーウイルス 25型			1						1
コクサッキーウイルス A型	2		6					2	10
コクサッキーウイルス B型			1					3	4
サポウイルス GIV					1				1
ヒトメタニューモウイルス			1						1
ライノウイルス	1		6					1	8
パレコウイルス 3型							1		1
アデノウイルス 4型								1	1
エコーウイルス 11型		1	1						2
パレコウイルス 1型	2	1							3
同定ウイルス 合計	6	6	20	0	6	0	1	11	50

◎細菌同定数(平成26年10～12月検体搬入分)

	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	合計
検体搬入数	2	5			5		17	21	50
A群溶レン菌		4						19	23
インフルエンザ菌		1					7		8
ペニシリン耐性肺炎球菌							1		1
ペニシリン中等度耐性肺炎球菌							6	1	7
ペニシリン感受性肺炎球菌							2		2
Salmonella enterica var. Typhimurium					1				1
同定細菌 合計	0	5	0	0	1	0	16	20	42

感染症月報 平成27年1月号 平成27年1月28日 発行

発行 福島県衛生研究所 感染症情報センター  
 〒960-8560 福島市方木田字水戸内16-6  
 URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21910a/>  
 E-mail : eiseikenkyuu@pref.fukushima.lg.jp

本報は、感染症法に基づくものであり、県内の定点医療機関、保健福祉事務所、中核市保健所の御協力を得て分析・提供するものです。